

受検番号

小論文

- 注意
- 1 答えは、すべて、縦書きとし解答用紙の決められた欄に書き入れなさい。
  - 2 字数には句読点も含みます。
  - 3 漢字はかい書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
  - 4 答えは、原稿用紙の正しい使い方にしたがって書きなさい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある日、幸江さんは朝ごはんのあとに、お父さんから「幸江、こんな意見があるよ。読んでごらん。」と新聞を渡された。そこには、次のような投書があった。

A <ゴミを捨てるのは有料に> (36才、会社員)

現在日本人が出しているゴミが膨大な量になっていることはよく知られている。燃えるゴミは二酸化炭素を排出し、大気汚染や地球温暖化の原因となっている。燃えないゴミは埋立地等に廃棄されているが、その作業にかかる手間や費用はたいへんなものである。

このような大量のゴミをどう処理するかを考えるのはもちろん大切だが、より重要なことはゴミをできるだけ出さないようにすることではないだろうか。食物や工業製品の無駄遣いや、商品の過剰な包装には目に余るものがある。それをおさえるのに有効な方法として、ゴミの収集を有料化することを提案したい。

現在でもゴミ袋は色や大きさが決められているところがあるが、あの袋を1枚100円にするとか、100円のシールを貼って出すことにするのである。すると、家庭ではできるだけゴミを出さないように無駄をおさえるだろうし、得られた収入をゴミ処理の予算にまわすこともできて一石二鳥である。

実際に、欧米ではこうした方式を実施して効果をあげているところもあると聞く。わが国でも、取り返しがつかない事態に陥る前に、早急な実施を望みたい。

学校で環境問題について学んだことのある幸江さんは、これはなかなかいいアイデアだと思って感心した。そこで、「ねえ、この投書の意見ってどう思う。私はけっこういいと思うんだけど。」とお母さんに聞いてみた。すると、「ほんとに、そんなことできるのかしら。まず、面倒でしょうがないわね。守らない人もいるだろうし。あなたのお兄さんなんか、下宿で一人暮らしよね。1回に出す生ゴミなんかほんのちょっとでしょ。溜めとくわけにもいかないし、ちょこちょこ有料シールを貼るなんてしそうにないわよ。」という答えが返ってきた。たしかに、実行するのはなかなかたいへんなことのように思えてきた。